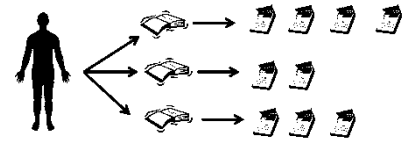


平成28年度アカデミック・ライティング教育部門 個人指導年間報告書*

*現在（3/10）までのデータを基に作成。進行中の指導や3月中の論文投稿の報告によりデータの変更あり。

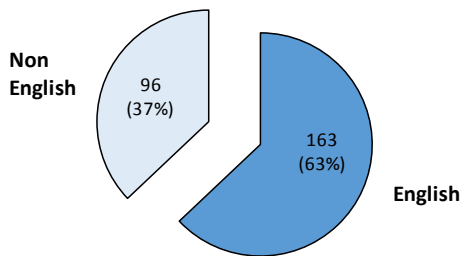
1名の利用者（Client）は複数のサービス（Service）を受けることが可能。1件のサービス（Service）では複数の指導（Session）を受けることが可能。

年間基本情報			
	前期	後期	合計
指導数	157	102	259
サービス数	68	59	127
利用者数	52	40	92

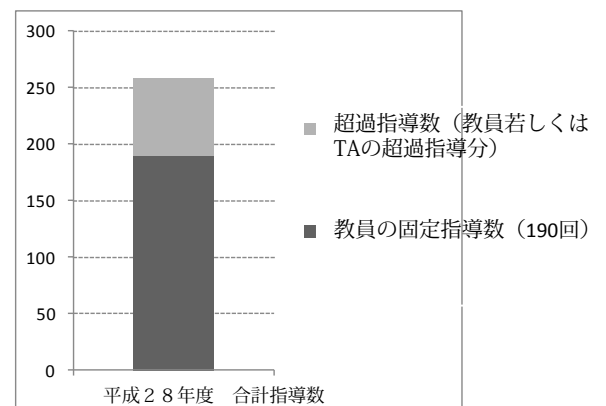


当部門の個人指導は利用者が研究のために明確な論文テーマと説得力のある議論を展開するための手助けを目的として、英語・中国語・フランス語・ドイツ語で指導を行います。一回の指導時間は45分とします。

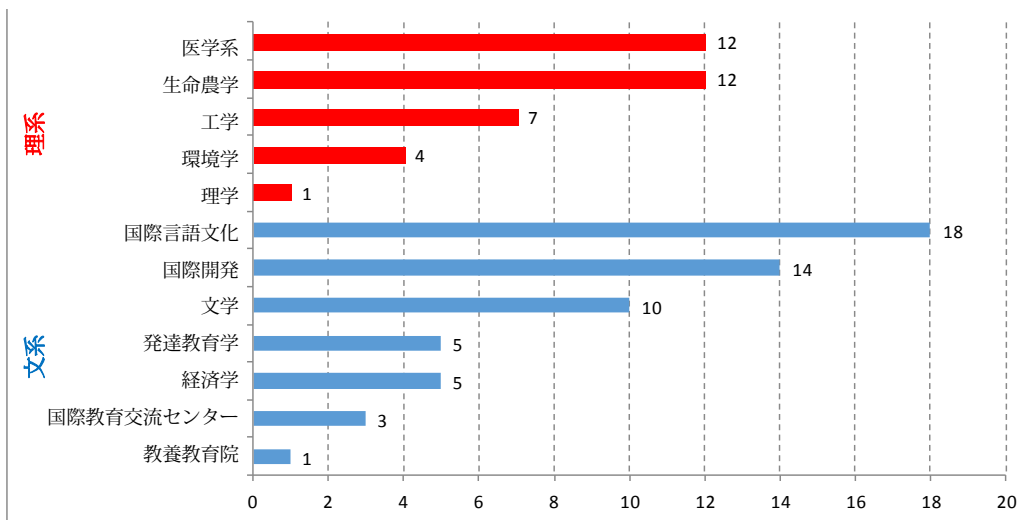
指導数から見る指導時使用言語



部門全体の指導数再配分

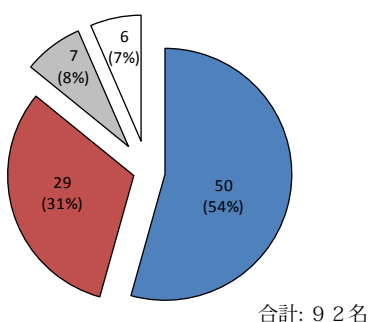


研究科等別利用者数（理系：36 文系：56）



ステイタス別利用者数

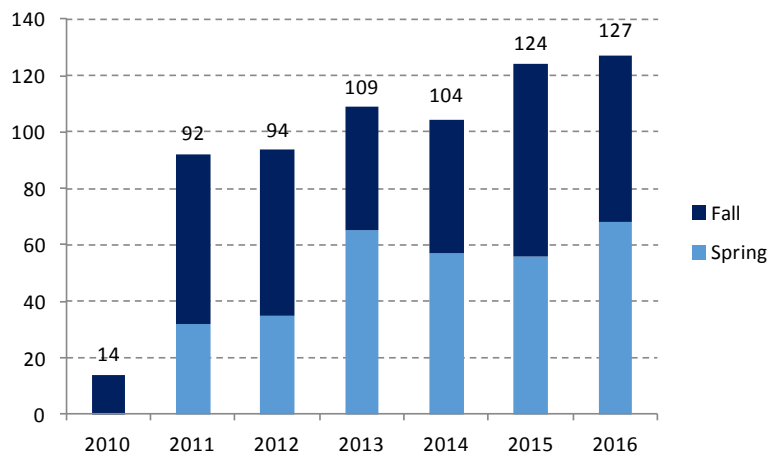
■修士 ■博士 ■教職員 □その他



平成28年度の注目事項

- 新任の教員、新規のTA（フランス語）が後期より加わる
- 総体的な指導数は今年度も続けて増加した（127回）
- 12の学部・研究科等が当部門の個人指導を利用した（利用者の60%が文系、40%が理系である。）
- 前年度同様、修士課程の学生が利用者数の大部分を占めている。

年間合計サービス数（2010年度～）



論文発表に関して

2016年10月より論文発表の評価方針を改正しました。当部門の論文発表における貢献としてみなすのは学術誌、本及びブックチャプター、予稿集そして博士論文の4項目となります。その他の結果（口頭発表・案・奨学金申請書等）は業績として明示します。

個人指導成果（2010年度～）

業績: 147

論文発表: 65

論文発表率: 34 %

